



古里でSDGsを考えたろう  
 やはばSDGsカフェ

町は「やはばSDGsカフェ」を昨年11月〜今年2月にかけて計3回、やはば1くを会場に、環境学習交流センター（NPO法人環境パートナーシップいわて）などと連携して開催しました。一般の方々を対象にSDGsの基礎知識を学び、ワークショップなどを通じて地域の課題解決などに役立つ町の資源の洗い出しなどを実施。

参加者同士が活発にコミュニケーションを図る中でSDGsへ理解を深め、よりよい地域づくりのため熱心に意見を交わしました。



やはばSDGsカフェの様子

参加者から一言!



藤原 美加さん  
 (下赤林)

SDGsの目標達成について経済・社会・環境で考えたときに、例えば経済はプラスに働くが、環境にはマイナスに働くことがあることなども意識できた。

普段の生活では、ごみの分別や省エネにつながる行動は意識していた。今後もそれらを続けながら、仕事では高齢者に関わる機会が多いので、そういった部分でもSDGsにつながることでできればと思う。



地球温暖化、自分のできることは何?  
 矢巾東小、徳田小で環境学習

2月1日に矢巾東小、同日に徳田小で5年生を対象に地球温暖化をテーマに環境学習を行いました。

県地球温暖化防止活動推進センターから派遣された「岩手県地球温暖化防止活動推進員」が講師を務め、地球温暖化と人の生活との関係、温暖化の対策として自分たちができることなどを学び、考えを深めました。

児童らは学習の中で、給食などのご飯を残したり、水道の水を出しっぱなしにするなど、生活のさまざまな面で環境に負担が掛かる可能性があることを学習。

普段の生活を見直し、自分たちがこれから取り組むことができる行動について考えを深めました。



真剣な表情で学習に臨む矢巾東小の児童



環境について話し合う徳田小の児童

参加者から一言!



川村 絆唯さん  
 (徳田小)

身近なところでは、冷蔵庫を何度も開けないなど、地球にも人にも負担を掛けるような行動に気を付け、環境のために緑のカーテンなどをやってみたい。



遠藤 世惟さん  
 (矢巾東小)

これからの生活の中で、エコバッグをできるだけ使いたい。また、使った物をすぐに捨てずに、再利用できるものは繰り返し使うなど、物の無駄使いをしないようにしたい。

省資源や地球温暖化対策のため  
 皆さんの取り組みを教えてください!

町は、各事業所や団体の省資源・地球温暖化対策の活動事例を町ホームページなどで紹介します。町内全体で地球温暖化対策へ意識を高めて取り組むためのご協力をお願いします。

詳細は町ホームページ (QR) をご覧ください。



▼対象 町内事業所、町内各種団体

▼紹介内容 事業所や団体の概要、省資源や地球温暖化対策 (省エネ行動や製品などの紹介)、実施による効果など

▼提出・問い合わせ 任意の書式に事業所・団体名、住所、連絡先、取り組み内容を記入の上、役場町民環境課環境係 (〒028-3692 矢巾町大字南矢幅13-123 メール kankyo\_yhb@town.yahaba.iwate.jp ☎611-2501・2506・2507) へ。



やはばSDGsプラットフォームを開設  
 SDGsに関心がある方はぜひご参加を!

町は、SDGsに関するさまざまな情報について、発信や情報共有などに活用するメーリングリスト「やはばSDGsプラットフォーム」を開設します。

パソコンやスマートフォンなどで、メールによりイベントなどの開催情報の共有や、活動の実施にあたり協力者を集めたい場合など、SDGs関係のさまざまな取り組みに活用できます。ぜひ、ご参加ください。

※リストの登録と管理は役場が行い、登録者の情報は本人の了承なしに公表しません。

▼問い合わせ 役場企画財政課 (☎611-2722、メールsdgs@town.yahaba.iwate.jp)